

第40回 公立小中学校栄養教諭・学校栄養職員研究大会 実施報告

- 1 趣 旨 学校給食のもつ教育的意義を深め、栄養教諭・学校栄養職員の専門職としての資質の向上を図るとともに、安全・安心で魅力ある学校給食を通して、食に関する指導の充実に努める。
- 2 主 催 愛媛県教育研究協議会
- 3 後 援 愛媛県教育委員会
- 4 参加者 関係教職員（栄養教諭 学校栄養職員 管理職 その他） 給食センター関係者
- 5 期 日 令和元年10月25日（金）
- 6 会 場 エスポワール愛媛文教会館 松山市祝谷町1丁目5-33 TEL(089)946-2772
- 7 大会主題 『深めよう 心と体を育む食教育』
- 8 日 程

9:30 10:00 10:30 11:30 12:00 13:00 13:20 15:20 15:30 15:45

受付	開会行事	実践発表	指導講話	昼 食	事務連絡	講 演	質疑応答	閉会行事
----	------	------	------	-----	------	-----	------	------

9 研修内容

(1) 実践発表

- 主 題 「西日本豪雨災害時における給食施設を活用した炊き出しの実際」
 発表者 西予市立野村中学校 栄養教諭 林 佳代
 指導助言 愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 山市 知代
 愛媛県教育研究協議会 専門局長 越村 慎治

(2) 指導講話

- 演 題 「『生きる力』を育む食育の推進」
 講 師 愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 山市 知代

(3) 講 演

- 演 題 「ダシの美味しさと健康」
 講 師 龍谷大学 農学部 食品栄養学科 教授 伏木 亨 先生

10 研修報告

大会主題『深めよう 心と体を育む食教育』の下、実施計画どおりに開催できた。

午前、西予市立野村中学校栄養教諭林佳代先生から、昨年度の西日本豪雨災害の被災経験から給食施設を活用した炊き出しの実際について発表があった。完成間近であった新学校給食センターの被災や電気や水道も使えない状況下、既存の施設において学校給食に使用予定であった食材を使つての避難所への炊き出しなど今後起こるかもしれない災害への示唆をいただいた。また行政と学校及び地域との連携などについても学ぶ点が多くあった。

午後からの龍谷大学教授 伏木亨先生には、「ダシの美味しさと健康」と題して講演いただいた。だし美味しさが日本の美意識や精神と関係性があり、大切な日本の食文化であるということ、を栄養教諭として、教育現場で子どもたちに伝えていきたいと思った。

参加者からは、実践発表について、災害はいつどこで起こるのかわからないので、体制作りや備蓄食品について考え、学校給食調理場ではどのようなことができるか等、いざというときに備えたいという感想があった。災害時における備蓄等の対応については、課題としている市町が多いというような意見もあり、今回の実践発表の報告を各市町教育委員会に持ち帰ることで今後の参考になると感じた。